

自然エネルギーで 電気をつくってる割合が 大きい県はどこ？

技術の進歩のおかげで、水、太陽、風、波、木・草などの自然エネルギーを利用して電気をつくることができるようになりました。日本が、ほとんどを輸入している石炭・石油・天然ガス（化石燃料）のように、使い果たしてしまう心配がなく、地いきの自然を利用して電気をつくる（発電する）ことができます。発電時も、気候をくるわすもとなる二酸化炭素（CO₂）を、ほとんど出さない利点もあります。

都道府県別に、県内で使用する電気のうち、どれくらいの割合の電気が自然エネルギーで作られているのかを調べました。下の表は、割合が大きい順にトップから9位と、最下位を表しています。

都道府県別の自然エネルギーで作った電気の割合（2019年3月）


全国 ランキング	都道府県	割合 (百分率: %)	割合 (小数)
1	大分	41.8	
2	かごしま		0.383
3	秋田	36.7	
4	宮崎		0.363
5	ぐんま	32.2	
6	高知		0.297
7	三重	28.9	
8	福島		0.288
9	とちぎ	28.2	
47	東京	1.9	



(千葉大学他)

- 百分率で表した割合を小数で、小数で表した割合を百分率で求めて、表に書きましょう。
- 県内で使用する約 $\frac{3}{10}$ の電気を、自然エネルギーで作っているところはどこですか。
- 神奈川県ランキングは45位でした。神奈川県の割合を少数で表すとA、B、Cのうち、どれになると思いますか。

A. 13.5 B. 0.52 C. 0.05



自然エネルギーで 電気をつくってる割合が 大きい県はどこ？

技術の進歩のおかげで、水、太陽、風、波、木・草などの自然エネルギーを利用して電気をつくることができるようになりました。日本が、ほとんどを輸入している石炭・石油・天然ガス（化石燃料）のように、使い果たしてしまう心配がなく、地いきの自然を利用して電気をつくる（発電する）ことができます。発電時も、気候をくるわすもとなる二酸化炭素（CO₂）を、ほとんど出さない利点もあります。

都道府県別に、県内で使用する電気のうち、どれくらいの割合の電気が自然エネルギーで作られているのかを調べました。下の表は、割合が大きい順にトップから9位と、最下位を表しています。

都道府県別の自然エネルギーで作った電気の割合（2019年3月）

全国 ランキング	都道府県	割合 (百分率: %)	割合 (小数)
1	大分	41.8	0.418
2	かごしま	38.3	0.383
3	秋田	36.7	0.367
4	宮崎	36.3	0.363
5	ぐんま	32.2	0.322
6	高知	29.7	0.297
7	三重	28.9	0.289
8	福島	28.8	0.288
9	とちぎ	28.2	0.282
47	東京	1.9	0.019



(千葉大学他)

- 百分率で表した割合を小数で、小数で表した割合を百分率で求めて、表に書きましょう。
- 県内で使用する約 $\frac{3}{10}$ の電気を、自然エネルギーで作っているところはどこですか。 **高知県**
- 神奈川県ランキングは45位でした。神奈川県の割合を少数で表すとA、B、Cのうち、どれになると思いますか。

A. 13.5 B. 0.52 **C. 0.05**